

核兵器のない平和で公正な世界へ

北朝鮮核問題の平和的解決を

どんな口実でも
許されない北朝鮮核実験

北朝鮮による核実験は、東アジアだけでなく世界にも脅威と不安を与えました。こうした無謀で危険な行為は、どのような口実によっても許されるものではありません。

北朝鮮は、「米国の敵対的行為に対処した自衛的措置」、「先軍（軍事優先）思想に基づく対応方式」などと正当化しています。

しかし、核の先制使用政策をかかげたブッシュ政権に変わって、オバマ米大統領が核兵器のない世界を追求すると宣言し、世界の圧倒的多数の国々が核兵器の廃絶をもとめているなかで、自衛・国防のために核保有をするなどは、時代錯誤もいいところです。

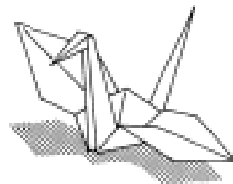
私たちは、北朝鮮が計画しているすべての核実験を停止し、核開発を放棄し、直ちに「六カ国協議」に復帰することを強く求めます。



日本政府は平和的解決へ全力を

国連安保理は、北朝鮮の核実験強行を「最も強い表現で非難」し、非軍事、外交的措置を明記した制裁決議を全会一致で採択しました。

問題の平和的解決にとって、北朝鮮の隣国であり、紛争の平和的解決を定めた憲法9条を持つ日本の役割は特別に重要です。私たちは、日本政府が韓国、中国をはじめ「六カ国協議」の当事国と協調し、問題の外交的、平和的解決を促進するよう強く求めます。



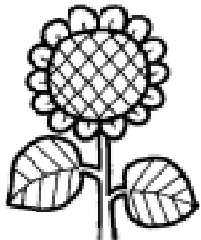
また、今回の問題を利用した「敵基地攻撃」論や日本の「核武装」論に強く反対します。現在のような状況だからこそ、平和主義を貫いた憲法を外交に生かすべきです。

いまこそ核兵器禁止・廃絶を

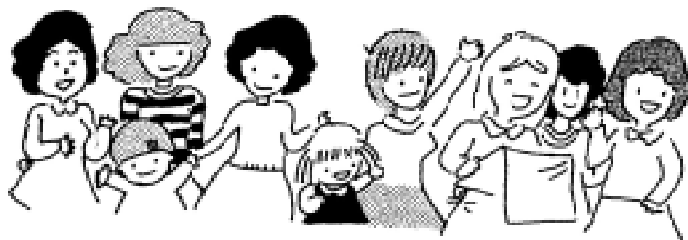
今回の問題は、改めて核兵器廃絶が緊急の課題であることを示しています。

私たちは、核兵器の拡散を防ぐためにも、核不拡散条約（NPT）の締約国、非同盟諸国をとわず、すべての国の政府が核兵器廃絶で合意し、禁止し、廃止することを要求します。

そのために、核保有国をはじめすべての政府が「すみやかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結すること」を求める「核兵器のない世界を」国際署名にとりこんでいます。ぜひ、あなたも署名にご協力ください。



核兵器廃絶！ 憲法9条守ろう！



世界の流れが 大きく変化しています

広島と長崎に原爆が投下されてから今年で64年。核兵器廃絶をもとめる幾百万人の声は、世界に広がり、世界の流れが大きく変化しています。

「核兵器のない世界を追求する」

オバマ米大統領が画期的演説

広島と長崎に原爆が投下されてから今年で64年。核兵器廃絶をもとめる幾百万人の声は、世界に広がり、世界の流れが大きく変化しています。

オバマ米大統領は米国としてはじめて「核兵器のない世界をめざす」と演説。オバマ米大統領の演説は、世界で歓迎され、ロシアやアメリカの同盟国であるイギリス、ドイツ、スペイン、ノルウェーなど他のNATO諸国にも広がっています。

こうした変化を作り出してきたのが、核兵器の恐ろしい実態を人々に知らせ、核兵器全面禁止のための行動を世界に広げ、促進し続けてきた日本と世界の草の根の行動です。

2010年春、ニューヨークへ 1200万筆の署名を届けます

2010年春、ニューヨークの国連本部で、核保有5カ国も含め、世界190カ国が加わる核不拡散条約(NPT)再検討会議が開かれます。

核保有国をはじめ、すべての国の政府がすみやかに核兵器禁止・廃棄条約の交渉を開始し、締結することに合意するよう、核廃絶署名が世界で取り組まれています。日本では、国内で1200万筆の署名を集めて届けようとしています。ぜひ署名にご協力ください。



唯一の被爆国、憲法9条を持つ日本が 核兵器廃絶へ世界のイニシアチブを

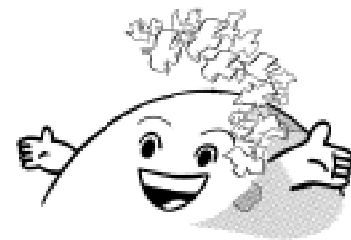
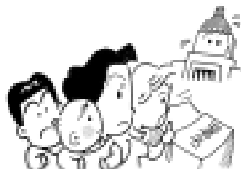
世界で唯一の被爆国であり、紛争の平和的解決を定めた憲法9条を持つ日本の果たす役割は特別に重要です。

ところが歴代の日本政府は、国連総会での核軍縮決議の多くに棄権か反対の立場を取り続けてきました。

さらにも、自公政権や民主党、財界は、憲法9条を改悪し、戦争ができる国に日本を変えてしまおうと企んでいます。こんなことを許すわけには行きません。

世界の流れが大きく変化している今こそ、唯一の被爆国であり、憲法9条を持つ日本が戦争反対、核兵器廃絶のために世界のイニシアチブをとるべきです。

21世紀を平和の世紀とするためにも、憲法9条は日本の宝、世界の希望です。憲法9条の改悪に反対する署名にご協力ください。



平和を願うあなたの署名が世界を動かす